【施策３】

智頭の魅力を伝え、智頭が好きな人を増やす

自然の恵みとつながり、生活文化を丁寧に伝え、次世代に受け継ぐ取り組み

ＫＰＩ

ＫＰＩ 重要業績評価目標	目標値 2020～2026 累計	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
観光入込客数	140,000 人／年	62,381 人	69,709 人	97,781 人	105,439 人	98,007 人
来館者数（図書館）	48,000 人／年	50,941 人 累計 72,155 人	48,871 人 累計 121,026 人	49,492 人 累計 170,518 人	52,400 人 累計 222,918 人	53,666 人 累計 276,584 人
貸出利用者数	－	14,288 人	12,874 人	13,217 人	63,777 人	63,101 人
民泊利用者数	500 人／年	18 人	186 人	118 人	156 人	64 人
移住者数（ちづみち）	5 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

智頭の暮らしを丁寧に伝える民泊を推進（総合計画 No.24）

新規民泊家庭の確保と受入態勢の強化のため、各種研修会を開催しているが、ピーク時に比べ、民泊家庭数・民泊利用者数ともに減少している。

実際に民泊を体験された方の満足度は非常に高く、リピーターも少なからずあること、今後も教育旅行等の大口需要が継続していく見込みであることから、事業継続のための受入態勢強化は急務である。

新智頭図書館の地域資料コーナーの充実とまちとつながる事業実施（総合計画 No.82，88）

開館５周年を機に利用者アンケートを実施した。総合的満足度は 90％を超えており、これまでの取り組みの成果が表れた結果となった。また、来館目的の項目では、イベント参加、展示を見る、仕事・学習などの項目が 40％を超えるなど、賑わいの創出につながっていることも実感できた。

今後も親子、友達、学校、地域などあらゆる世代が図書館に触れ合う機会を提供し、賑わ

いの創出につなげていきたい。

麒麟のまち圏域連携事業（総合計画 No.129）

令和４年度末に「智頭町観光・移住定住ビジョン」を策定し、短期的な観光滞在から中長期的な移住定住へと繋げるための各種施策を推進している。

1. 観光振興および実態調査の取り組み

インバウンド向けのツアーを実施し、外国人旅行者の誘致・確保に努めた。また、町内の宿泊者数調査や観光客の周遊動向調査を行い、今後の観光事業における課題の洗い出しと明確化を図った。

2. 情報発信の強化

会員向けにメールマガジンを配信し、智頭町の魅力や最新情報を発信した。

3. 広域連携による移住促進

「麒麟のまち圏域（1 市 6 町）」で連携し、全国規模の移住フェア・イベントに共同出展し、近隣自治体と足並みを揃え、圏域全体での移住者確保に努めた。

<様式1附属>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名		智頭町まるごと民泊の積極的推進			所属	山村再生課	SDGｓ	8
事業（細目）名		智頭町まるごと民泊事業				事業番号	1972	
総合計画	基本理念	森の恵みを活かしたまちづくり						
	視点	仕事	事業番号	25		連番	24	

R7年度（4月記入）

Goal(目標)	民泊を通じ多くの方に本町を訪れてもらい、地域の活性化につなげ第２のふるさととなるよう推進する。

Plan(事業概要・計画)

・民泊を通じ多くの方に本町を訪れてもらい地域の活性化に繋げるとともに、都市住民の第2のふるさととなるよう事業を推進する。

・ワンランク上のおもてなし提供、各家庭のおもてなし力を智頭町のおもてなしレベルに引き上げる。

R7年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)

R7実績額					892,475円
活動実績を示す指標	単位	R6	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
① 新規民泊受入家庭の増	軒	1	2	1	100%
② 民泊レベルアップのための研修会	回	3	3	1	33%
③					

実施内容

・新規旅館業営業許可取得を支援した。

・鳥取市保健所へ依頼し、食中毒に関する研修を行った。

R7年度（3月末に記入）

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

・活動家庭の固定化、減少への対応並びに協議会の自立が課題である。

R7年度（3月末に記入）

評価	C

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	C

評価理由：　有効性に大きな課題がある。

R7年度（3月末に記入）

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

家庭交流会や研修を継続し、ワンランク上のおもてなし力の全家庭定着を図る。

安定した民泊受入態勢を整えるため、町民向けに「智頭町まるごと民泊」をPRする方法を再検討する（智頭まちゼミ参加・町民向け民泊家庭の料理教室など）。

＜様式1附属＞

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	図書館を中心にした賑わい創出			所属	教育課	SDGｓ	4
事業（細目）名	図書館費				事業番号	1770	
総合計画	基本理念	Ⅲ子どもから大人まで学びと成長のまちづくり					
	視点	①学び	事業番号	18	連番	82	

R7年度（４月記入）

Goal(目標)	住民に愛され必要とされる場となることを目指す

Plan(事業概要・計画)

・図書館を多くの住民に知ってもらうことにより、利用だけでなく図書館を中心にした新たな住民の交流を目指す。
・関係課や関係団体との協議により、図書館だけでなく新たな賑わいを創出する幅広い事業を実施する。

R7年度

Do(実行)

	活動実績を示す指標	単位	R6	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
	R7実績					41,000円
①	講座・講演会等の開催	回	2	2	2	100%
②	地域への出前講座	回	7	7	6	86%
③	地域と連携した事業実施	回	29	33	34	117%

実施内容

・地域との連携事業（講座9回、展示25回）
・地域への出前講座
・講演会、講座の開催
・ボランティアと連携した事業委託（開館5周年記念）
・図書館Ｗｅｂサイトの充実

R7年度

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

・新図書館開館後、多くの方から連携した事業提案をもらい実施することができた。
・開館から5年を迎え、さらに図書館から広がる賑わいの創出について取り組む必要がある。
（新図書館開館後延入館者　275,000人　3月31日現在）

R7年度

評価	B

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	B

評価理由：　多様なニーズに対応したサービスを実施し、住民との連携を図っている。

R7年度

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

・住民が求める多様な活動が、自主的に実施できる場となれるように地域との連携を図る。
・図書館サービスについての広報に努め、図書館が住民の居場所や交流の場所となることを周知する。

＜様式1附属＞

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	図書館事業			所属	教育課	SDGｓ	4
事業（細目）名	図書館費				事業番号	1770	
総合計画 基本理念	Ⅲ子どもから大人まで学びと成長のまちづくり						
総合計画 視点	①学び	事業番号	24		連番	88	

R7年度

Goal(目標)	住民の生涯学習拠点として、資料を整備し図書館サービスと読書事業の展開を図る。

Plan(事業概要・計画)

- 図書館サービスの充実と新規図書館利用者の開拓
- 子どもの読書環境の整備
- 地域資料の充実
- 高齢者の読書活動の支援
- 図書館利用啓発事業

R7年度

Do(実行)

R7実績					34,107,134円
活動実績を示す指標		単位	R6実績	R7(計画)	R6(実績)	対前年比(%)
①	新規利用者登録数	人	215	220	158	73%
②	1人あたりの貸出冊数	冊/年	8.5	9	8.8	104%
③	延貸出利用者数	人	12,590	13,000	13,057	104%

実施内容

- 保育園、学校図書館との連携
- 図書館Webサイト、Facebookの活用
- 地域資料寄贈の呼びかけと献本の受入
- あたまイキイキ音読教室などの事業実施
- 図書館資料の見直し、蔵書の整備

R7年度

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

- 図書館サービス計画に基づいた今後の実施が重要になる。住民利用を勘案し、サービス計画の改定を行った。
- 地域資料をはじめ、図書館資料の見直しを始めている。地域に必要とされる蔵書の整備が必要となる。
- 保育園、小学校、中学校等との連携による子どもの読書活動の推進を図っている。

R7年度

評価	B

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	B

評価理由： 住民の生涯学習拠点として図書館運営を行い、利用者増を図れている。

R7年度

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R７の方針・計画

- 策定した図書館サービス計画を住民の姿から見直し、検討を行い充実させる。
- 図書館サービスや利用について、住民への周知を図り、利用者を広げる。

＜様式1附属＞

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名		東部圏域をはじめとする近隣自治体との連携による移住定住促進及び広域観光事業			所属	企画課	SDGｓ	17
事業（細目）名		移住定住促進事業			事業番号	1741		
総合計画	基本理念	Ⅳ　地域や家族のつながりでつくるまちづくり						
	視点	仲間づくり	事業番号	14	連番	129		

R7年度

Goal(目標)	鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、新温泉町、香美町と連携することにより、県外の人にイメージをもってもらいやすくし、観光ＰＲや移住定住相談等の推進を図る。

Plan(事業概要・計画)

・圏域内の自治体と連携し、移住相談会を開催する。
・魅力発信事業による町のPRを推進する。

R7年度

Do(実行)

R7実績額					0
活動実績を示す指標	単位	R6	R7(計画)	R7(実績)	対前年比(%)
①　移住相談会への参加	件	1	1	1	100%
②　町民ライター数の増加	人	6	8	3	50%
③					

実施内容

・麒麟のまちとして「おいでや！いなか暮らし」フェアに参加 相談件数:5件
・町民ライターを活用した町の魅力発信

R7年度

Check(確認)

評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適応しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

成果・課題

・町民ライター数は減少しているが、計画的にコンスタントな投稿を行うことや、投稿内容の質向上により、フォロワー数やいいね数など着実に増加している。

R7年度

評価	B

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止

担当課長評価

評価	C

評価理由：　成果として表れていない。

R7年度

Action(改善)

R7実施内容の改善及び見直しの上、R8の方針・計画

・移住促進及び観光客増加をしていくため、中核市である鳥取市との連携し効果的なPR方法について協議を重ねる。
・住環境整備の強化
・情報発信の工夫